

研究集会と勉強会  
「WORKSHOP ON GEOMETRY AND GEOMETRIC ANALYSIS」

2013年3月9日訂正版

東北大学・情報科学研究科の純粋・応用数学研究センターとの共催研究集会です。

日時：3月13日（水）－15日（金）

場所：東北大学・情報科学研究科棟；

2階大講義室（13日および15日）、2階中講義室（14日）

外国人2人と日本人3人による各2回連続講演を予定しています。

講演予定者：

- ・ Harish Seshadri (Indian Institute of Science, Bangalore, India)
- ・ Jeff Viaclovsky (University of Wisconsin, Madison, USA)
- ・ 川上裕 (山口大・理)
- ・ 本多正平 (九大・数理)
- ・ 松尾信一郎 (阪大・理)

注：Rafe Mazzeo 氏 (Stanford University, USA) の来日は、都合により中止となりました。

Jimmy Petean 氏 (CIMAT, Mexico) の来日・講演は、急病のため中止となりました。それに伴い、最終日の講演プログラムの時間繰り上げを行いました。

世話人：

芥川和雄 (東北大・情報)

高橋淳也 (東北大・情報)

Cosponsored by

純粋・応用数学研究センター

(The Research Center for Pure and Applied Mathematics)

## プログラム

3月13日(水): 2階大講義室

10:00–11:00 & 11:30–12:30

Jeff Viaclovsky (University of Wisconsin, Madison, USA)

“ Critical metrics on connected sums of Einstein 4-manifolds ”

14:00–15:00 & 15:30–16:30

松尾信一郎 (阪大・理)

“ 平均次元と変形理論の無限次元モジュライ空間への応用 ”

“ (An Application of Mean Dimension and Deformation Theory to INFINITE Dimensional Moduli Spaces) ”

3月14日(木): 2階中講義室

10:00–11:00 & 11:30–12:30

Harish Seshadri (Indian Institute of Science, Bangalore, India)

“ Ricci flow invariant cones ”

14:00–15:00 & 15:30–16:30

本多正平 (九大・数理)

“ 最近の崩壊理論の発展とその応用 ”

“ (Recent development of collapsing theory and applications) ”

3月15日(金): 2階大講義室

10:00–11:00 & 11:30–12:30

川上裕 (山口大・理)

“ Overview of the proof of Willmore conjecture by Marques and Neves ”